

B1on/B1Xon

Bass Multi-Effects Processor

オペレーションマニュアル

このたびは、**ZOOM B1on/B1Xon** (以下 **B1on/B1Xon** と呼びます)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

B1on/B1Xon の機能を十分に理解し、末永くご愛用いただくためにも、このマニュアルをよくお読みくださるようお願い致します。

なお、このマニュアルはお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

目次

安全上の注意／使用上の注意	2	パッチを保存する／入れ替える	15
はじめに	3	各種設定を変更する	16
各部の名称	4	チューナーを使う	20
電源を入れる	6	リズムを使う	22
ディスプレイ情報	7	ルーパーを使う	24
用語について	7	エクスプレッションペダルを使う (B1Xon のみ)	26
パッチを使用する	8	ファームウェアアップデートの方法について	28
エフェクトを調節する	10	故障かな？と思う前に	30
マスターレベル、マスターテンポを調節する	14	仕様	31

安全上の注意／使用上の注意

安全上の注意

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。

	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例

	「実行しなければならぬ(強制)内容」です。
	「してはいけない(禁止)内容」です。

警告

ACアダプターによる駆動

- ① ACアダプターは、必ず ZOOM AD-16 を使用する。
 - ② コンセントや配線器具の定格を超える使い方や AC100V 以外では使用しない。
- AC100V と異なる電源電圧の地域 (たとえば国外) で使用する場合は、必ず ZOOM 製品取り扱い店に相談して適切な AC アダプターを使用する。

乾電池による駆動

- ① 市販の 1.5V 単三乾電池 (アルカリ電池または、ニッケル水素蓄電池) × 4 を使用する。
- ② 乾電池の注意表示をよく見て使用する。
- ③ 使用するときは、必ず電池カバーを閉める。

改造について

- ④ ケースの開封や改造を加えない。

注意

製品の取り扱いについて

- ① 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- ② 異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- ③ 湿度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- ④ 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- ⑤ 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- ⑥ 振動の多いところでは使わない。
- ⑦ 砂やほこりの多いところでは使わない。

ACアダプターの取り扱いについて

- ① 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ② 長期間使用しないときや雷がなっているときは、電源プラグをコンセントから抜く。

乾電池の取り扱いについて

- ① 電池の+、-極を正しく装着する。
- ② 指定の電池を使う。
- ③ 新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を同時に使用しない。
- ④ 長期間使用しないときは、乾電池を取り外す。
- ⑤ 液漏れが発生したときは、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取る。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

- ① ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッチを必ずオフにしてから接続する。
- ② 移動するときは、必ずすべての接続ケーブルと AC アダプターを抜いてから移動する。

音量について

- ③ 大音量で長時間使用しない。

使用上の注意

他の電気機器への影響について

B1on/B1Xon は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、**B1on/B1Xon** と影響する機器とを十分に距離を置いて設置してください。

デジタル制御の電子機器では、**B1on/B1Xon** も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。注意してください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。
クレンジャ、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに AC アダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様の名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

著作権について

⑧文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。
*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

はじめに

5 エフェクト同時使用

同時に 5 つのエフェクトを自由に選択、配列して使用可能。使用中のエフェクトを即座に表示できる LCD ディスプレイとカーソルキーを搭載しました。

多彩なリズムパターン

リズムパターンとドラム音色を見直し、リアルなサウンドを実現しました。

ルーパー搭載

リズムと同期可能なルーパー機能を搭載し、最大 30 秒のループフレーズを録音することができます。

リアルなアンプモデリング

B3 から受け継がれた、リアルなアンプモデリングサウンドを搭載しました。低音の粘り具合や、音抜け、音圧感といった“弾き心地”に関わる要素まで見事に再現しました。歴史的名機から近年の人気モデルまで、多彩なベースサウンドを網羅しています。

長時間の電池駆動

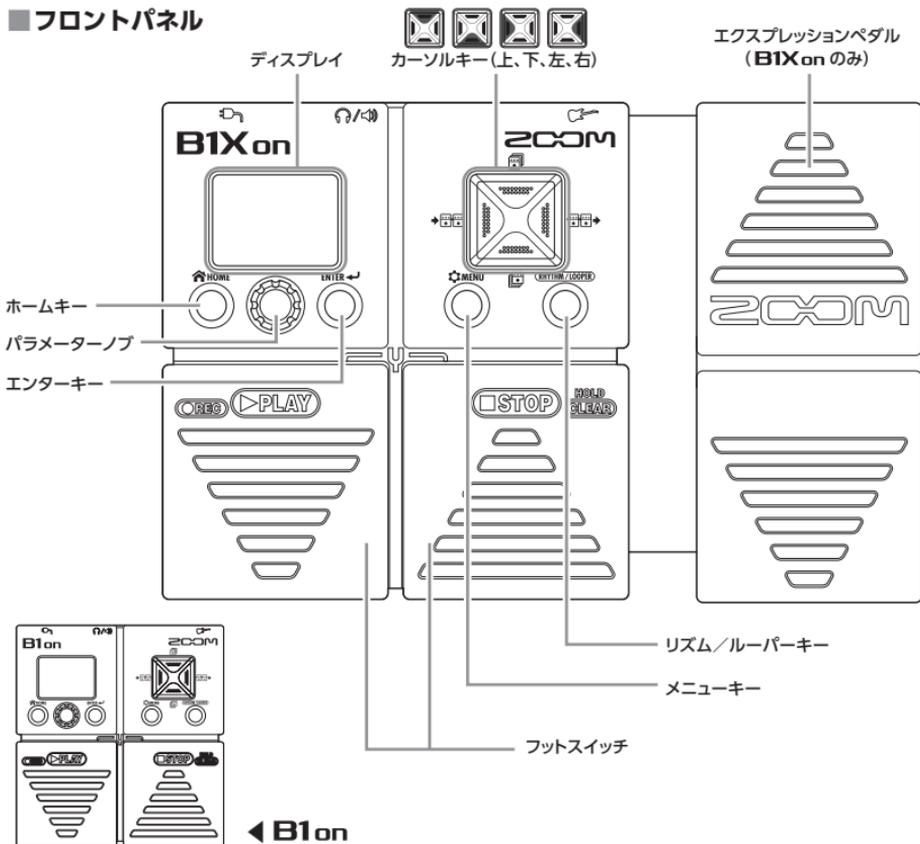
アルカリ電池を使えば、20 時間の連続動作が可能です。

※ LCD バックライト OFF 時

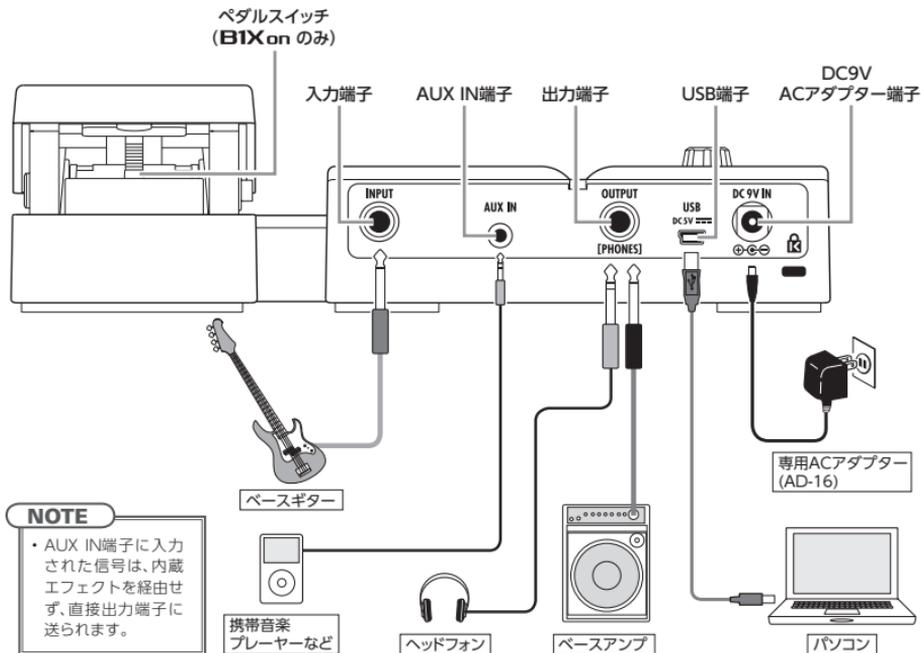
※ **B1on/B1Xon** のエフェクトパラメーターリストは、製品には付属しておりませんので、ダウンロードしてご利用ください。→ <http://www.zoom.co.jp/>

各部の名称

■フロントパネル



■ リアパネル

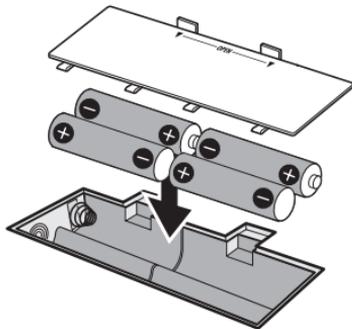


電源を入れる

アンプの音量を最小にする。

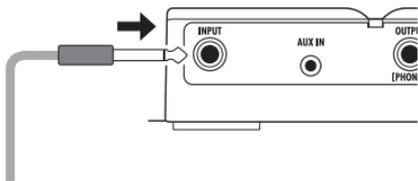
■ 電池を使用する場合

電池ボックスに電池を入れる。



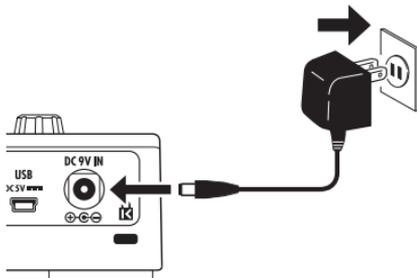
ケーブルを入力端子に接続する。

(電源 “ON”)



■ AC アダプターを使用する場合

専用アダプター (AD-16) を接続する。



アンプの電源を入れ、音量を上げる。

NOTE

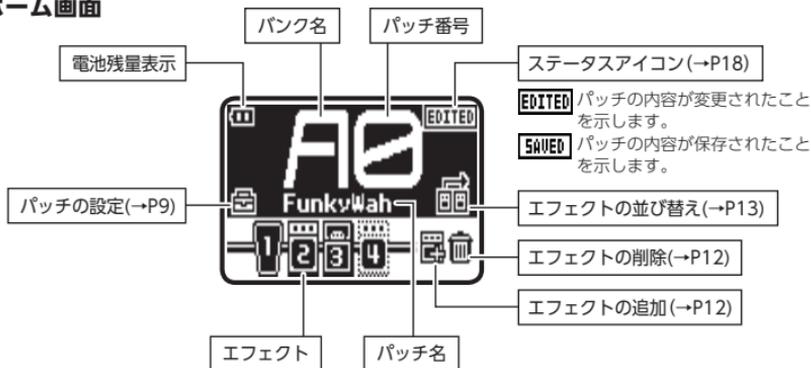
- USBバスパワーでも使用できます。

eco モードについて

各種設定でecoモードを“ON”に設定している場合、操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れます。(→P16)

ディスプレイ情報

■ ホーム画面



HINT

- ・ ホーム画面以外の画面で  を押すと、ホーム画面に戻ります。
- ・ OFFのエフェクトはグレーアウト表示されます。

用語について

パッチ

エフェクトの ON/OFF やパラメーターの設定値を記憶したものを“パッチ”と呼びます。エフェクトの呼び出しや保存はパッチ単位で行います。**B1on/B1Xon** は 100 パッチまで保存できます。

バンク

10 パッチをひとまとめにしたものを“バンク”と呼びます。バンクは A～J までの 10 バンクあります。

パッチを使用する

パッチを変更するには

、を押す。

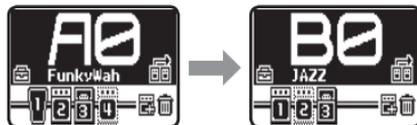


HINT

- 離れた番号のパッチに変更するプリセレクト機能については、P19を参照してください。
- 、を長押しするとパッチを連続して変更することができます。

バンクを変更するには

、を押す。



パッチごとの設定を変更するには

ホーム画面で  を
回す。
[PATCH SETTINGS] を選択
する。



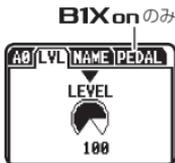
ENTER  を押す。

[PATCH SETTINGS] 画面が
表示される。



ENTER  を押す。

パッチのエディット画面が
表示される。



 を回す。
目的のページが表示される。

■ パッチレベルを変更するには (LVL)

 を回す。
LEVEL を選択する。



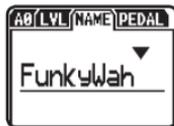
ENTER  を押す。

 を回す。
0～120の範囲で調節する。



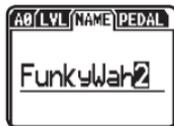
■ パッチ名を変更するには (NAME)

 を回す。
カーソルを移動する。



ENTER  を押す。
変更する文字を確定する。

 を回す。
文字を変更する。



HINT

- 、 を押すと、文字/記号の種類を変更することができます。

エフェクトを調節する

エフェクトを選択するには

ホーム画面で  を
回す。
エフェクトを選択する。

ENTER  を押す。

選択したエフェクトのトッ
プ画面が表示される。



パーチャルノブ



選択したエフェクトのグラフィック

HINT

- ・パーチャルノブは現在のパラメーター値を表示します。

エフェクトを ON/OFF するには

、 を押す。



エフェクト ON



エフェクト OFF

エフェクトタイプを選択するには

、 を押す。



● エフェクトの処理量制限について

B1 on/B1X on は 5 つ
のエフェクトを自由に組み
合わせることができます
が、大きな処理量を必要と
するエフェクトタイプ (ア
ンプモデルなど) を組み合わせると、処理



の限界を超えることがあります。その場合、
“PROCESSING LIMIT” と表示され、エフェ
クトがバイパス状態になります。いずれかの
エフェクトタイプを変えることにより、この
状態を回避できます。

■ カテゴリーから選択するには



を長押しする。

カテゴリーが表示される。



を回す。

カテゴリーを選択する。



ENTER ↵



を押す。

NOTE

- ・B1X on にはペダルカテゴリーのエフェクトが搭載されています。

エフェクトの表示をスクロールするには

複数のエフェクトを使用している場合、スクロールしてエフェクトの表示を切り替えます。



を押す。



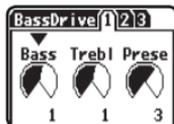
パラメーターを調節するには

ENTER ↵



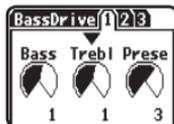
を押す。

エディット画面が表示される。



を回す。

調節するパラメーターを選択する。

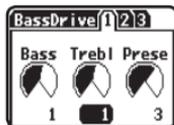


ENTER ↵



を押す。

調節するパラメーターを確定する。



を回す。

パラメーター値を調節する。



HINT

- ・工場出荷時にはオートセーブ機能が有効になっているため、パラメーター調節後、設定が自動的に保存されます。(→P18)

エフェクトを調節する

エフェクトを追加するには

ホーム画面で  を
回す。

[ADD EFFECT] を選択する。



ENTER  を押す。

追加するエフェクトのカテ
ゴリー選択画面が表示され
る。



 を回す。

カテゴリーを選択する。



ENTER  を押す。

追加するエフェクトの挿入
先選択画面が表示される。



 を回す。

挿入先を選択する。



ENTER  を押す。

エフェクトを追加する。

終了:  を回す。

[EXIT] を選択する。



ENTER  を押す。

HINT

- ・エフェクト画面で 、 を長押ししてエフェクトを追加することもできます。

エフェクトを削除するには

ホーム画面で  を
回す。

[DELETE EFFECT] を選択
する。



ENTER  を押す。

エフェクトの削除画面が表
示される。





を回す。

削除するエフェクトを選択する。



ENTER ↵

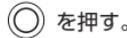


を押す。

確認画面が表示される。



ENTER ↵



を押す。

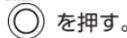
エフェクトを削除する。

終了：  を回す。

[EXIT] を選択する。



ENTER ↵



を押す。

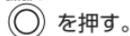
エフェクトを並び替えるには

ホーム画面で  を回す。

[EFFECT CHAIN] を選択する。

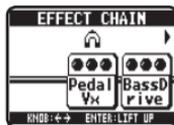


ENTER ↵

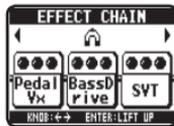


を押す。

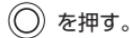
エフェクトの並び替え画面が表示される。



移動するエフェクトを選択する。

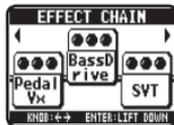


ENTER ↵

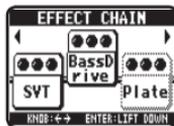


を押す。

移動するエフェクトが確定する。



移動先を選択する。

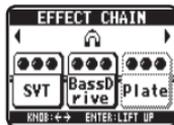


ENTER ↵



を押す。

移動先を確定する。



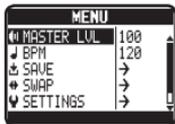
HOME

終了：  を押す。

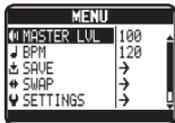
マスターレベル、マスターテンポを調節する

マスターレベルを調節するには

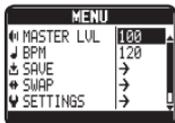
ホーム画面で  MENU を押す。
メニュー画面が表示される。



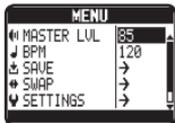
 を回す。
[MASTER LVL] を選択する。



ENTER  を押す。



 を回す。
0～120の範囲で調節する。



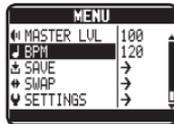
終了:  MENU を押す。

マスターテンポを調節するには (BPM)

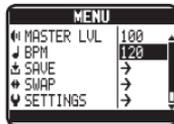
ホーム画面で  MENU を押す。
メニュー画面が表示される。



 を回す。
[BPM] を選択する。



ENTER  を押す。



 を回す。
40～250の範囲で調節する。



NOTE

- ここで設定したテンポは各エフェクト・リズム・ルーパーで共有されます。

終了:  MENU を押す。

パッチを保存する／入れ替える

現在のパッチを保存するには

ホーム画面で  を
押す。

メニュー画面が表示される。

 を回す。

[SAVE] を選択する。

 を押す。

パッチの保存画面が表示さ
れる。

 を回す。

保存先のパッチを選択する。

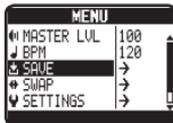
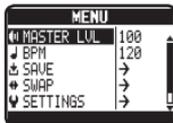
 を押す。

確認画面が表示される。

 を回す。

実行: “YES”
キャンセル: “NO”

 を押す。



現在のパッチを入れ替えるには

ホーム画面で  を
押す。

メニュー画面が表示される。

 を回す。

[SWAP] を選択する。

 を押す。

パッチの入れ替え画面が表
示される。

 を回す。

入れ替え先のパッチを選択する。

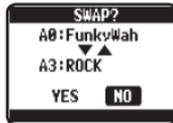
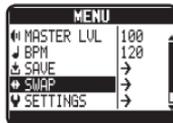
 を押す。

確認画面が表示される。

 を回す。

実行: “YES”
キャンセル: “NO”

 を押す。



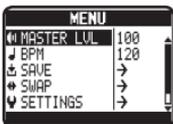
NOTE

- 現在のパッチが保存されて
いない場合、パッチを入れ
替えることができません。

各種設定を変更する



ホーム画面で  を押す。
メニュー画面が表示される。



 を回す。
[SETTINGS] を選択する。



 を押す。
設定画面が表示される。



電池の種類を選択するには

設定画面で  を回す。
[BATTERY] を選択する。



 を押す。



 を回す。

ALKALI (アルカリ電池)、Ni-MH (ニッケル水素蓄電池) を選択する。

eco モードを設定するには

設定画面で  を回す。

[eco] を選択する。



 を押す。



 を回す。

ON、OFF を選択する。

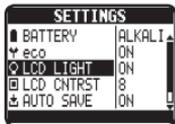
HINT

- ON: ecoモードを有効にします。操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れます。
- OFF: ecoモードを無効にします。

バックライトの点灯時間を調節するには

設定画面で  を回す。

[LCD LIGHT] を選択する。

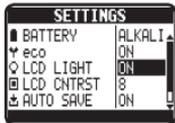


ENTER  を押す。



 を回す。

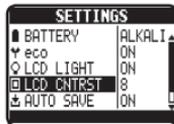
OFF、ON、15sec、30sec を選択する。



ディスプレイのコントラストを調節するには

設定画面で  を回す。

[LCD CNTRST] を選択する。

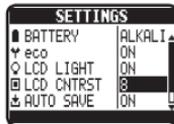


ENTER  を押す。



 を回す。

1 ~ 13 の範囲で調節する。



各種設定を変更する

オートセーブを設定するには

設定画面で  を回す。

[AUTO SAVE] を選択する。



ENTER  を押す。



 を回す。

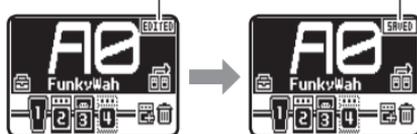
ON、OFF を選択する。

オートセーブが“ON”の場合

パッチの変更は自動的に保存されます。

パッチの内容が変更されたことを示します。

パッチの内容が保存されたことを示します。



オートセーブが“OFF”の場合

以下の保存操作を行うまで、パッチの変更は保存されません。

パッチに変更がある場合、他のパッチに移るときに確認画面が表示されます。



 を回す。

保存する：“YES”

保存しない：“NO”



ENTER  を押す。

NOTE

- ・“NO”を選択した場合は、パッチ設定が保存されずに他のパッチに移ります。

 を回す。

保存先のパッチを選択する。

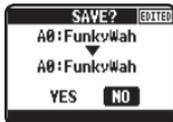


ENTER



を押す。

確認画面が表示される。



を回す。

保存：“YES”

キャンセル：“NO”

ENTER



を押す。

パッチの変更が保存される。

HINT

- ・保存操作はメニュー画面から行うこともできます。
- ・「現在のパッチを保存するには」を参照してください。(→P15)

NOTE

- ・パッチを保存していない場合、パッチを入れ替えることができません。(→P15)

プリセレクトを設定するには

設定画面で  を回す。

[PRESELECT] を選択する。



ENTER



を押す。



を回す。

ON、OFF を選択する。

HINT

- ・ON:プリセレクト機能を有効にします。変更先をあらかじめ選択してから、パッチを変更します。
- ・OFF:プリセレクト機能を無効にします。

■プリセレクトが“ON”の場合

ホーム画面で 、
 を押す。

変更先のパッチを選択する。



、 を同時に押す。

選択したパッチに変更する。

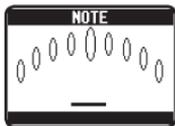


チューナーを使う

チューナーを有効にするには

ホーム画面、エフェクト画面で 、 を同時に押す。

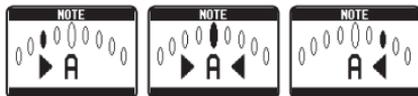
チューナー画面が表示される。



ベースギターをチューニングするには

各開放弦を弾きピッチを調節する。

CHROMATIC チューナー



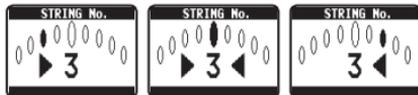
(低い)

(正確なピッチ)

(高い)

最寄りの音名とピッチのずれが表示される。

BASS チューナー



(低い)

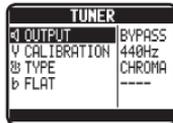
(正確なピッチ)

(高い)

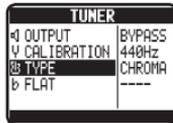
終了: 、 を押す。

チューナーの設定を変更するには

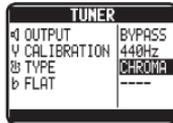
チューナー画面で  を押す。
設定画面が表示される。



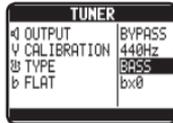
 を回す。
設定する項目を選択する。



  を押す。
設定する項目を確認する。



 を回す。
設定を変更する。



  を押す。

● 設定項目

アウトプット (OUTPUT)

BYPASS、MUTE を選択します。

基準ピッチ (CALIBRATION)

中央 A=435Hz ~ 445Hz の範囲で調節します。

チューナータイプ (TYPE)

クロマチック (CHROMA)、ベース (BASS) を選択します。ベースチューナーについては下表を参考してください。

フラットチューニング (FLAT)

b × 0、b × 1、b × 2、b × 3 を選択します。

NOTE

- ・チューナータイプが“CHROMA”のときは、フラットチューニングはできません。

チューナータイプ

表示	解説	弦番号 / 音名					
		LB	4	3	2	1	HC
BASS	5弦、6弦ベースにも対応するベースギターの標準チューニング	B	E	A	D	G	C

HINT

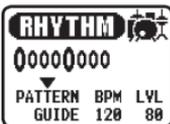
- ・“LB”はLow B、“HC”はHigh Cを表します。

リズムを使う

リズムを有効にするには

ホーム画面、エフェクト画面で  を押す。

リズム画面が表示される。



HINT

- リズム画面で  を押すと、ルーパー画面に切り替わります。

パターン、テンポ、音量を設定するには

リズム画面で  を回す。

設定する項目を選択する。



  を押す。

設定する項目を確認する。



 を回す。
設定を変更する。



設定項目

パターン (PATTERN)

リズムパターンを選択します。リズムパターンについては、P23 を参照してください。

テンポ (BPM)

40 ~ 250 の範囲で調節します。

NOTE

- ここで設定したテンポは各エフェクト・リズム・ルーパーで共有されます。

音量 (LVL)

0 ~ 100 の範囲で調節します。

リズムを再生するには

リズム画面で  を押す。



リズムを停止するには

リズム画面で  を押す。

HINT

- リズム画面で  を押すと、再生したままホーム画面に戻ります。

リズムパターン

No.	PatternName	TimSig
1	GUIDE	4/4
2	8Beats1	4/4
3	8Beats2	4/4
4	8Beats3	4/4
5	16Beats1	4/4
6	16Beats2	4/4
7	16Beats3	4/4
8	Rock1	4/4
9	Rock2	4/4
10	Rock3	4/4
11	ROCKABLY	4/4
12	R'nR	4/4
13	HardRock	4/4
14	HeavyMtl	4/4
15	MtlCore	4/4
16	Punk	4/4
17	FastPunk	4/4
18	Emo	4/4
19	TomTomBt	4/4
20	Funk1	4/4
21	Funk2	4/4
22	FunkRock	4/4
23	JazzFunk	4/4

No.	PatternName	TimSig
24	R&B1	4/4
25	R&B2	4/4
26	70s Soul	4/4
27	90s Soul	4/4
28	Motown	4/4
29	HipHop	4/4
30	Disco	4/4
31	Pop	4/4
32	PopRock	4/4
33	IndiePop	4/4
34	EuroPop	4/4
35	NewWave	4/4
36	OneDrop	4/4
37	Steppers	4/4
38	Rockers	4/4
39	Ska	4/4
40	2nd Line	4/4
41	Country	4/4
42	Shuffle1	4/4
43	Shuffle2	4/4
44	Blues1	4/4
45	Blues2	4/4
46	Jazz1	4/4

No.	PatternName	TimSig
47	Jazz2	4/4
48	Fusion	4/4
49	Swing1	4/4
50	Swing2	4/4
51	Bossa1	4/4
52	Bossa2	4/4
53	Samba1	4/4
54	Samba2	4/4
55	Breaks1	4/4
56	Breaks2	4/4
57	Breaks3	4/4
58	12/8 Grv	12/8
59	Waltz	3/4
60	JzWaltz1	3/4
61	JzWaltz2	3/4
62	CtWaltz1	3/4
63	CtWaltz2	3/4
64	5/4 Grv	5/4
65	Metro3	3/4
66	Metro4	4/4
67	Metro5	5/4
68	Metro	

ルーパーを使う

ルーパーを有効にするには

ホーム画面、エフェクト画面で  を押す。

ルーパー画面が表示される。

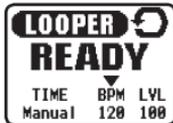


HINT

- ルーパー画面で  を押すと、リズム画面に切り替わります。

録音時間、テンポ、音量を設定するには

ルーパー画面で  を回す。
設定する項目を選択する。



  を押す。
設定する項目を確認する。



 を回す。
設定を変更する。



● 設定項目

録音時間 (TIME)

MANUAL、J × 1 ~ J × 64 の範囲で調節します。

NOTE

- ルーパーの最大録音時間は30秒です。
- 録音範囲に取まらない設定の場合、自動的に調節されます。
- 録音時間を変更すると録音データは消去されません。

テンポ (BPM)

40 ~ 250 の範囲で調節します。

NOTE

- テンポを変更すると録音データは消去されません。
- ここで設定したテンポは各エフェクト・リズム・ルーパーで共有されます。

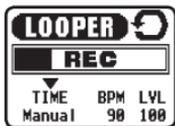
音量 (LVL)

0 ~ 100 の範囲で調節します。

フレーズを録音・再生するには

ルーパー画面で  を押す。

録音を開始する。



設定した録音時間が経過するとループ再生が開始される。



オーバーダビングするには

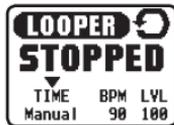
ループ再生中に  を押す。



終了:  を押す。

ループ再生を停止するには

ルーパー画面で  を押す。



TIME が MANUAL の場合

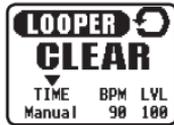
 を押すか、最大録音時間（30 秒）に達するとループ再生が開始される。

NOTE

- ・リズム再生中は、プリカウント後に録音が始まります。

ループを消去するには

ループ再生を停止し、ルーパー画面で  を長押しする。



HINT

- ・ルーパー画面で  を押すと、録音・再生したままホーム画面に戻ります。

エクスプレッションペダルを使う(B1X onのみ)

ペダルカテゴリーのエフェクトを追加した場合、エクスプレッションペダルでパラメーターをコントロールできるように自動で設定されます。

ペダルの設定を変更するには

ホーム画面で  を
回す。

[PATCH SETTINGS] を選択
する。



ENTER  を押す。

[PATCH SETTINGS] 画面が
表示される。



ENTER  を押す。

パッチのエディット画面が
表示される。



 を回す。

ペダルの設定画面が表示さ
れる。



■ コントロールするパラメーター、可 動範囲を設定するには

ペダルの設定画面で
 を回す。

設定する項目を選択する。



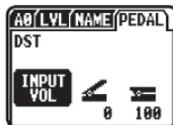
ENTER  を押す。

設定する項目を確認する。



 を回す。

設定を変更する。



● 設定項目

コントロールするパラメーター 

最小値 (踏み上げ時) 
エフェクトタイプにより異なります。

最大値 (踏み込み時) 
エフェクトタイプにより異なります。

HINT

- NO ASSIGN: エクスプレッションペダルに機能を割り当てません。
- AUTO ASSIGN: ペダルカテゴリーのエフェクトを使用している場合、それらに応じたパラメーターが自動的に割り当てられます。ペダルカテゴリーのエフェクトを複数使用している場合、それらがすべて同時に割り当てられます。
- INPUT VOL: 入力レベルをコントロールします。
- OUTPUT VOL: 出力レベルをコントロールします。(リズム、ルーパーの音量は変化しません。)
- エクスプレッションペダルに割り当てられたエフェクトは、ペダルスイッチでON/OFFすることができます。(ペダルスイッチでのON/OFFは保存されません。)

感度を調節するには

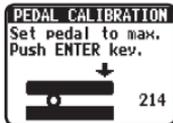
☆MENU

⊙ を押しながら、電源を入れる。(→ P6)



表示に従ってペダルを操作し、その都度 ⊙ を押す。

“Complete!” と表示され、調節が終了する。



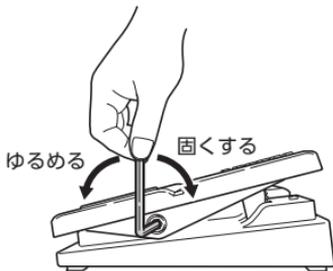
NOTE

- “Error!” と表示された場合は最初からやり直してください。

トルクを調節するには

ペダル側面のトルク調節用ネジに 5mm サイズの六角レンチを差し込む。

ペダルを固くしたいときは時計回り、ゆるめたいときは反時計回りに回す。



NOTE

- ゆるめすぎると内部でネジが外れてしまうので、十分に注意してください。

ファームウェアアップデートの方法について

ZOOMのWEBサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてください。

<http://www.zoom.co.jp/>

ファームウェアバージョンを表示するには



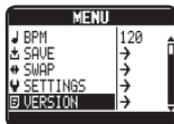
ホーム画面で  を押す。

メニュー画面が表示される。



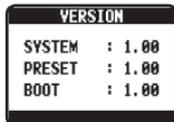
を回す。

[VERSION] を選択する。



 を押す。

ファームウェアバージョンが表示される。



終了:  を押す。

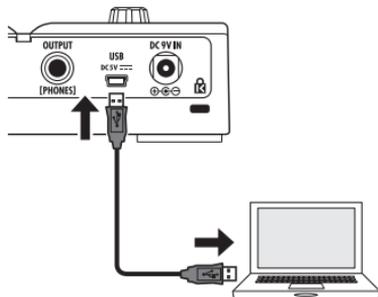
ファームウェアをアップデートするには

電源が切れていることを確認する。



を同時に押しながら、USBケーブルでパソコンに接続する。

アップデート画面が表示される。



パソコンでファームウェアアップデートアプリケーションを起動し、アップデートを実行する。

完了すると“Complete!”と表示される。

USB ケーブルを取り外す。

HINT

- ・ファームウェアのアップデートにより、保存済みのパッチが消去されることはありません。

NOTE

- ・ファームウェアアップデート中はUSBケーブルを抜かないでください。

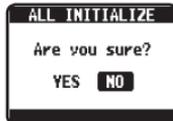
B1on/B1Xon を工場出荷時の設定に戻すには

HOME



を押しながら、電源を入れる。(→ P6)

オールイニシャライズ画面が表示される。



を回す。

実行：“YES”

キャンセル：“NO”

ENTER



を押す。

NOTE

- ・すべての設定が工場出荷時に戻ります。十分に注意してください。

故障かな？と思う前に

電源が入らない

- ・ 電池駆動時は、入力端子にケーブルを接続する。

音が出ない、非常に小さい

- ・ 接続を確認する。(→P5)
- ・ 各エフェクトのレベルを調節する。(→P11)
- ・ マスターレベルを調節する。(→P14)
- ・ エクスプレッションペダルで音量の調節を行っている場合は、適切な音量になるようにペダルの位置を調節する。
- ・ チューナーのアウトプットが“MUTE”になっていないことを確認する。(→P20)

ノイズが多い

- ・ シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ・ ZOOM純正のACアダプターを使用する。(→P6)

エフェクトがかからない

- ・ エフェクトの処理量が制限を越えている場合、エフェクトグラフィックの上に“PROCESSING LIMIT”と表示される。“PROCESSING LIMIT”と表示されたエフェクトはバイパス状態になる。(→P10)

電池の消耗が早い

- ・ マンガン電池を使用していないか確認する。連続使用可能時間は、アルカリ電池で約20時間。
- ・ 電池の設定を確認する。
電池の残量表示をより正確に行うには、使用している電池に設定を合わせる必要がある。(→P16)
- ・ 電池の特性上、気温が低い場所で使用すると消耗が早くなる。

エクスプレッションペダルがうまく動作しない

- ・ エクスプレッションペダルの設定を確認する。(→P26)
- ・ エクスプレッションペダルを調節する。(→P27)



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

仕様

エフェクトタイプ	B1on 75 タイプ B1Xon 80 タイプ	
同時使用エフェクト数	5	
パッチユーザーエリア	10 パッチ× 10 バンク	
サンプリング周波数	44.1kHz	
A/D 変換	24 ビット 128 倍オーバーサンプリング	
D/A 変換	24 ビット 128 倍オーバーサンプリング	
信号処理	32 ビット浮動小数 + 32 ビット固定小数	
ディスプレイ	LCD	
入力	INPUT	標準モノラルフォンジャック 定格入力レベル： - 20dBm 入力インピーダンス (ライン)： 470k Ω
	AUX IN	ステレオミニジャック 定格入力レベル： - 10dBm 入力インピーダンス (ライン)： 1k Ω
出力	OUTPUT	標準ステレオフォンジャック 最大出力レベル： ライン + 2dBm (出力負荷インピーダンス 10k Ω以上時) フォン 17mW + 17mW (負荷 32 Ω時)
S/N (入力換算ノイズ)	119dB	
ノイズフロア (残留ノイズ)	- 97dBm	
電源	AC アダプター DC9V センターマイナス、500mA (ズーム AD-16) 単三乾電池 4 本 連続駆動時間 20 時間 (アルカリ電池使用、LCD バックライト OFF 時)	
USB	ファームウェアアップデート	
外形寸法	B1on 154.8mm(D) × 146.0mm(W) × 43.0mm (H)	
	B1Xon 154.8mm(D) × 237.0mm(W) × 50.0mm (H)	
重量	B1on 380g (バッテリーを除く)	
	B1Xon 640g (バッテリーを除く)	

※ 0dBm = 0.775Vrms

B1 on

Bass Multi-Effects Processor



このパッチリストに記載されている会社名、製品名などはすべて各社の所有する商号、商標であり、(株)ズームとは関係ありません。すべての製品名、説明は、本機の開発中に参考とした製品を特定するために使用しました。

CATEGORY	BANK / PATCH	PATCH NAME	COMMENT	
Demo	A	0 UK Groove	UKロック系に最適な温かみのある歪みサウンド。	
		1 SLAP	ラウドなオケにも負けない抜けるロックスラップセッティング。	
		2 Fonk	M-Filter、DuoPhaseを使ったエンベロープフィルターサウンド。	
		3 REC FAT CL	HRT3500を使用した、クリーンサウンドを少しファット目に録りたい時のサウンド。	
		4 ruff	ピック弾きに適した攻撃的な歪みサウンド。	
		5 CLEAN&ECHO	楽曲中の静かなセクションに使えるエコーの利いたクリーンサウンド。	
		6 FAT Syn	ローレンジで威力を発揮するシンセベースサウンド。	
		7 AttackBass	スラップにも良く合うエッジのきいた攻撃的なベースサウンド。	
		8 Fracture	キングクリムゾンのジョンウェットン風の歪んだ重厚なロックサウンド。	
9 FRETLESS	フレットレスベースのように丸いアタックで、メロディー弾きに最適なセッティング。			
Stu Hamm	B	0 SolidState	代表的なソリッドステートアンプのトーンとアタック感を再現したセッティング。	
		1 RockSteady	SVTを使用した、どんなに激しくプレイしてもアンサンブルの低音を支えられるセッティング。	
		2 LowOctave	クリーンサウンドにオクターブ下の音を加えたパッチ。ソロや図太いベースラインに最適。	
		3 A-Remark	DefretとG-Kruegerを使用して、「A Remark You Made」のジャコバストリアスのトーンを再現したパッチ。	
		4 Reach4It!	ジョージデュークの「Reach For It」のイントロをイメージしたファンキーなシンセサウンド。	
		5 HammOnTap	クリーンなトーンにアーリーリフレクションを薄くかけた、タッピング奏法に最適なサウンド。	
		6 Chordal	コード弾きに最適な、繊細なコーラスとリバーブをかけたクリーンなサウンド。	
		7 SoloDlaVrb	ソロベース用の薄いディレイとリバーブをかけたセッティング。	
		8 SpaceMan	甘美なハーモニクスを際立たせたトーンにStereoDlyを合わせた、壮大で幻想的なサウンド。	
9 FrippOut	ロバートフリップの「Frippertronics」の世界観をイメージした、超現実的な風景を描き出すパッチ。			
Nate Watts	C	0 NW AUTO	BaAutoWahを使用したファンキーなプレイに適したオートワウサウンド。	
		1 NW FUZZ	Ba Metalを使用して激しく歪ませたファズサウンド。	
		2 NW VERB	ソロベースに最適なPlateを使用したリバーブサウンド。	
		3 NW ENS	Mark BとBa Ensmblを使用した厚みのあるコーラスサウンド。	
		4 NW VIB	Flip TopとVibratoを使用した変調感の強いモジュレーションサウンド。	
		5 NW SATK	Ag AmpとSlowATTCKを使用した立ち上がりを程よく遅くしたサウンド。コードプレイに最適。	
		6 NW DLY	G-KruegerとDelayを使用した素直な音が返ってくるディレイサウンド。ディレイ音を利用した幻想的なソロの演出に最適。	
		7 NW DBL	Ba Octaveを使用して低域の厚みを増したセッティング。	
		8 NW CHOR	acousticとBa Chorusを使用した、はっきりとした効果のコーラスサウンド。	
9 NW SYN	StdSynを使用したファンキーなフレーズによくあうシンセベースサウンド。			
Professional Settings	Clean	D	0 Studio	レコーディングなどのライン録音の音をイメージしたセッティング。
			1 Fat Man	フィンガーピッキングの「もっちり」とした音をイメージしたセッティング。
			2 TC CLEAN	テクニックを駆使したあらゆる指弾きに適したコンプ設定のクリーンサウンド。
			3 The Gospel	SMRを使用したゴスペルベースサウンド。
			4 REC CLEAN	HRT3500を使用した、クリーンサウンドでの速弾きをレコーディングするためのセッティング。
			5 Solid Bass	シャープな立ち上がりのベースサウンド。ミドルも十分出ているので音の輪郭も損なわず、高速プレイに最適。
			6 Big Willie	滑らかな力強いフィンガーピッキングをイメージしたサウンド。
			7 Low Fi	AC Bs Preを使用して大胆にイコライジングしたローファイサウンド。
			8 PickHeavy	ピック弾きに最適な、歪む寸前の状態でわずかにコンプレッションを効かせたロックサウンド。
	9 ReggaeBASS	野太く、ローレンジの音圧を前面に出したレゲエDubに最適なサウンド。		
	Clean	E	0 Cappn Hook	SVTとBa Boostで重低音を出したジェームスジェマーソン風のサウンド。
			1 REC SOLO_C	G-Kruegerを使用したクリーンサウンドでのソロを録音するためのサウンド。
			2 FUSION CH	ハーモニクスプレイなどに最適な、ジャズベースのリアピッキングをいかしたセッティング。
			3 CHORD	コード奏法に適した和音の輪郭を崩さないサウンド。
			4 HARMONICS	ジャコバストリアスをイメージさせるナチュラルハーモニクスを使ったコード奏法に最適なセッティング。
			5 CUTTING	右手の爪を使って繰り出すカッティングの音を生かすためのセッティング。
			6 TAPPING	タッピングのコード感や歯切れを最大限に演出できる浮遊感のあるサウンド。
			7 CLEAN SOLO	クリーンなサウンドでありつつ、大胆な速弾きも組み込める叙情的パッチ。
8 DUB BASS			深い奥行きのあるリバーブのきいたDubサウンド。ベース本体のトーンを絞っても面白い。	
9 Orpheum	ヴィクターウッテンのアルバム「ショウオブハンズ」でのサウンドを狙ったセッティング。			
Professional Settings	Clean	F	0 TREMO	イエスのクリススクワイア風サウンド。「Starship Trooper」での小刻みに音を揺らせたトレモロサウンドを再現。
			1 Mean Green	オージェイズのヒット曲「For the Love of Money」でのアンソニージャクソンのサウンドを再現したセッティング。
			2 CHO&REV	ブライتناラウンド弦の白玉など、長い音符の余韻を生かすのに効果的なサウンド。
			3 Ice	ModReverbを使用した心地よい揺れのセッティング。
			4 Listen Up	SlowATTCK、OptComp、Delay、ModReverbを使った陰りのあるサウンド。バラードに使うと非常に効果的。
			5 Tight	160 CompとSMRを使用したマーカスマラー風の音色。
			6 REC SLAP	Mark Bを使用したスラップを録音するためのセッティング。ダイレクト音と録って混ぜるのが理想。
			7 PULL MELO	スラップのプルだけを使って効果的にメロディーを聴かせるセッティング。
			8 ChokePHASE	160 CompとPhaserを使った、どんな状況でも音が抜けてくるサウンド。
	9 SLAPBACK	ショートディレイを使って幻想的なスラッププレイを楽しむセッティング。		
	Distortion	G	0 HYBRID DIS	歪んでいても埋もれない輪郭のあるディストーションサウンド。速弾きやライトハンドにも効果的。
			1 JB Dis	野太いハムバックピッキングを歪ませた、ジャックブルース風の粘りのある歪んだベースサウンド。
			2 ExtraExtra	Ba Dist 1とBa Boostを組み合わせた、ハーモニクスやメロディーが引き立つって楽しいサウンド。
			3 KingSal	HeavenとLimiterを使用したブーミーなサウンド。
			4 boozier	D.I PlusとBass BBを使用した荒い歪みのサウンド。
			5 Aggression	強いかつ大胆不敵なファズサウンド。Ag Ampがサウンドを固くしている。
			6 REC SOLO_D	D.I PlusとDI5を使用した速弾きソロをレコーディングするためのセッティング。
			7 DIS SOLO	ベースソロで思いっきり弾き倒せる速弾き&タッピング向けソロサウンド。
8 PHASER			楽曲に色を添える歪んだフェイザーサウンド。	
9 aMUSE me	Museの「ストックホルムシンドローム」をイメージした歪んだベースサウンド。			
Filter/Synth	H	0 AUTO-FUNK	Ba AutoWahを使用した表現力豊かなオートワウサウンド。	
		1 Talkin'	ボトムを強調した喋っているようなフィルターサウンド。	
		2 kick it	Ba Octaveを使用したオクターブフィルターサウンド。	
		3 Energy	アルフォンソジョンソンを意識した1970年代のフュージョンサウンド。Limiterでパンチを出してExciterで輪郭をはっきりさせた。	
		4 G-Boogie	SVTとM-Filterを組み合わせた、モーグシンセサイザーの雰囲気を持つ低音の豊かなサウンド。	
		5 Star Bass	シンセベースとエンベロープフィルターサウンドの中間を狙ったセッティング。	
		6 SYN BASS	過激なシンセベースサウンド。サスティンをいかした長い音符のフレーズにピッタリ!	
		7 BassickSyn	1970年代風のキーボードベースを、現代風にアレンジしたセッティング。	
		8 Boogie	喋っているような質感のシンセベースサウンド。	
9 SFX SYNTH	白玉1発で重低音をキープするときに効果的なシンセベースサウンド。			
Tweak Freak	I	0 Synth	うっすらとコンプをかけたサウンドにParticleRを組み合わせたセッティング。レガートで弾くとシンセパッド風のサウンドが得られる。	
		1 chill	コード弾きで使えるシンセパッドサウンド。	
		2 Ice Cold	Defretと1オクターブ下に設定したBa PitchとVibratoを使った、とてもファンキーでユニークなサウンド。	
		3 Drowned	FilterDlyとModReverbを組み合わせた海底に沈んだ遺跡をイメージさせるセッティング。	
		4 Warp	SeqFLTR、ReverseDLなどを使用したエレクトロニカ風サウンド。ハーモニクス、コード弾きに最適。	
		5 JustNasty	Ba Pitchで5度の音を加えたジョージデュークやフランクザッパを彷彿とさせる1970年代のフュージョンサウンド。	
		6 Krush	Dubstepなどをイメージした、BitCrushを使ったシンセベース風サウンド。	
		7 Copycat	心地良い雰囲気を生み出すモジュレーションのかかったロングディレイサウンド。	
		8 Murda Fuzz	SVT、StdSynとSeqFLTRを組み合わせた、図太いファズ&シンセサウンド。	
9 Genesis	ReverseDL、HD Hall、Ba Boostを組み合わせた、スパーシーなニューエイジベースサウンド。			
Legendary Tone	J	0 MillerTime	現代的なスラップ奏法に適したセッティング。M CompとMark Bを使用。	
		1 WARM TONE	歌伴などに最適な、ウォームで落ち着きのあるオーソドックスなベースサウンド。	
		2 EarthyRock	フィンガーピッキングによる荒っぽいロックに最適な太いサウンド。	
		3 Remote	AC Bs PreとFlip Topを組み合わせた、1960年代モータウン風のサウンド。	
		4 1981	ルイスジョンソン風のトラディショナルなスラップサウンド。	
		5 TM FUZZ	ミッドレンジを強力に持ち上げた、ティムボガート風の歪んだベースサウンド。	
		6 Smoke	低域を強調したトラディショナルなレゲエベースサウンド。	
		7 Magic	うっすらとBa Ensmblをかけた1980年代ポップス風のサウンド。	
		8 jackko	フレットレスをシミュレートしたサウンド。複数のエフェクトを組み合わせると揺れと広がり感を出している。	
9 SpaceFONK	D Comp、Vibrato、Z-Synを使った、ブツィーコリンズをイメージしたシンセベースサウンド。			

CATEGORY	BANK / PATCH	PATCH NAME	COMMENT	
Professional Settings	Clean	F	0 TREMO	イエスのクリススクワイア風サウンド。「Starship Trooper」での小刻みに音を揺らせたトレモロサウンドを再現。
			1 Mean Green	オージェイズのヒット曲「For the Love of Money」でのアンソニージャクソンのサウンドを再現したセッティング。
			2 CHO&REV	ブライتناラウンド弦の白玉など、長い音符の余韻を生かすのに効果的なサウンド。
			3 Ice	ModReverbを使用した心地よい揺れのセッティング。
			4 Listen Up	SlowATTCK、OptComp、Delay、ModReverbを使った陰りのあるサウンド。バラードに使うと非常に効果的。
			5 Tight	160 CompとSMRを使用したマーカスマラー風の音色。
			6 REC SLAP	Mark Bを使用したスラップを録音するためのセッティング。ダイレクト音と録って混ぜるのが理想。
			7 PULL MELO	スラップのプルだけを使って効果的にメロディーを聴かせるセッティング。
			8 ChokePHASE	160 CompとPhaserを使った、どんな状況でも音が抜けてくるサウンド。
	9 SLAPBACK	ショートディレイを使って幻想的なスラッププレイを楽しむセッティング。		
	Distortion	G	0 HYBRID DIS	歪んでいても埋もれない輪郭のあるディストーションサウンド。速弾きやライトハンドにも効果的。
			1 JB Dis	野太いハムバックピッキングを歪ませた、ジャックブルース風の粘りのある歪んだベースサウンド。
			2 ExtraExtra	Ba Dist 1とBa Boostを組み合わせた、ハーモニクスやメロディーが引き立つって楽しいサウンド。
			3 KingSal	HeavenとLimiterを使用したブーミーなサウンド。
			4 boozier	D.I PlusとBass BBを使用した荒い歪みのサウンド。
			5 Aggression	強いかつ大胆不敵なファズサウンド。Ag Ampがサウンドを固くしている。
			6 REC SOLO_D	D.I PlusとDI5を使用した速弾きソロをレコーディングするためのセッティング。
			7 DIS SOLO	ベースソロで思いっきり弾き倒せる速弾き&タッピング向けソロサウンド。
8 PHASER			楽曲に色を添える歪んだフェイザーサウンド。	
9 aMUSE me	Museの「ストックホルムシンドローム」をイメージした歪んだベースサウンド。			
Filter/Synth	H	0 AUTO-FUNK	Ba AutoWahを使用した表現力豊かなオートワウサウンド。	
		1 Talkin'	ボトムを強調した喋っているようなフィルターサウンド。	
		2 kick it	Ba Octaveを使用したオクターブフィルターサウンド。	
		3 Energy	アルフォンソジョンソンを意識した1970年代のフュージョンサウンド。Limiterでパンチを出してExciterで輪郭をはっきりさせた。	
		4 G-Boogie	SVTとM-Filterを組み合わせた、モーグシンセサイザーの雰囲気を持つ低音の豊かなサウンド。	
		5 Star Bass	シンセベースとエンベロープフィルターサウンドの中間を狙ったセッティング。	
		6 SYN BASS	過激なシンセベースサウンド。サスティンをいかした長い音符のフレーズにピッタリ!	
		7 BassickSyn	1970年代風のキーボードベースを、現代風にアレンジしたセッティング。	
		8 Boogie	喋っているような質感のシンセベースサウンド。	
9 SFX SYNTH	白玉1発で重低音をキープするときに効果的なシンセベースサウンド。			
Tweak Freak	I	0 Synth	うっすらとコンプをかけたサウンドにParticleRを組み合わせたセッティング。レガートで弾くとシンセパッド風のサウンドが得られる。	
		1 chill	コード弾きで使えるシンセパッドサウンド。	
		2 Ice Cold	Defretと1オクターブ下に設定したBa PitchとVibratoを使った、とてもファンキーでユニークなサウンド。	
		3 Drowned	FilterDlyとModReverbを組み合わせた海底に沈んだ遺跡をイメージさせるセッティング。	
		4 Warp	SeqFLTR、ReverseDLなどを使用したエレクトロニカ風サウンド。ハーモニクス、コード弾きに最適。	
		5 JustNasty	Ba Pitchで5度の音を加えたジョージデュークやフランクザッパを彷彿とさせる1970年代のフュージョンサウンド。	
		6 Krush	Dubstepなどをイメージした、BitCrushを使ったシンセベース風サウンド。	
		7 Copycat	心地良い雰囲気を生み出すモジュレーションのかかったロングディレイサウンド。	
		8 Murda Fuzz	SVT、StdSynとSeqFLTRを組み合わせた、図太いファズ&シンセサウンド。	
9 Genesis	ReverseDL、HD Hall、Ba Boostを組み合わせた、スパーシーなニューエイジベースサウンド。			
Legendary Tone	J	0 MillerTime	現代的なスラップ奏法に適したセッティング。M CompとMark Bを使用。	
		1 WARM TONE	歌伴などに最適な、ウォームで落ち着きのあるオーソドックスなベースサウンド。	
		2 EarthyRock	フィンガーピッキングによる荒っぽいロックに最適な太いサウンド。	
		3 Remote	AC Bs PreとFlip Topを組み合わせた、1960年代モータウン風のサウンド。	
		4 1981	ルイスジョンソン風のトラディショナルなスラップサウンド。	
		5 TM FUZZ	ミッドレンジを強力に持ち上げた、ティムボガート風の歪んだベースサウンド。	
		6 Smoke	低域を強調したトラディショナルなレゲエベースサウンド。	
		7 Magic	うっすらとBa Ensmblをかけた1980年代ポップス風のサウンド。	
		8 jackko	フレットレスをシミュレートしたサウンド。複数のエフェクトを組み合わせると揺れと広がり感を出している。	
9 SpaceFONK	D Comp、Vibrato、Z-Synを使った、ブツィーコリンズをイメージしたシンセベースサウンド。			

B1X on

Bass Multi-Effects Processor



このパッチリストに記載されている会社名、製品名などはすべて各社の所有する商号、商標であり、(株)ズームとは関係ありません。すべての製品名、説明は、本機の開発中に参考とした製品を特定するために使用しました。

CATEGORY	BANK / PATCH	PATCH NAME	COMMENT	
Demo	A	0 UK Groove	UKロック系に最適な温かみのある歪みサウンド。	
		1 SLAP	ラウドなオケにも負けない抜けるロックスラップセッティング。	
		2 Fonk	M-Filter、DuoPhaseを使ったエンベロープフィルターサウンド。	
		3 REC FAT CL	HRT3500を使用した、クリーンサウンドを少しファット目に録りたい時のサウンド。	
		4 ruff	ピック弾きに適した攻撃的な歪みサウンド。	
		5 CLEAN&ECHO	楽曲中の静かなセクションに使えるエコーの利いたクリーンサウンド。	
		6 FAT Syn	ローレンジで威力を発揮するシンセベースサウンド。	
		7 AttackBass	スラップにも良く合うエッジのきいた攻撃的なベースサウンド。	
		8 Fracture	キングクリムゾンのジョンウェットン風の歪んだ重厚なロックサウンド。	
9 FRETLESS	フレットレスベースのように丸いアタックで、メロディー弾きに最適なセッティング。			
Situ Hamm	B	0 SolidState	代表的なソリッドステートアンプのトーンとアタック感を再現したセッティング。	
		1 RockSteady	SVTを使用した、どんなに激しくプレイしてもアンサンブルの低音を支えられるセッティング。	
		2 LowOctave	クリーンサウンドにオクターブ下の音を加えたパッチ。ソロや図太いベースラインに最適。	
		3 A-Remark	DefretとG-Kruegerを使用して、「A Remark You Made」のジャコバストリアスのトーンを再現したパッチ。	
		4 Reach4It!	ジョージデュークの「Reach For It」のイントロをイメージしたファンキーなシンセサウンド。	
		5 HammOnTap	クリーンなトーンにアーリーリフレクションを薄くかけた、タッピング奏法に最適なサウンド。	
		6 Chordal	コード弾きに最適な、繊細なコーラスとリバーブをかけたクリーンなサウンド。	
		7 SoloDiaVrb	ソロベース用の薄いディレイとリバーブをかけたセッティング。	
		8 SpaceMan	甘美なハーモニクスを際立たせたトーンにStereoDlyを合わせた、壮大で幻想的なサウンド。	
9 FrippOut	ロバートフリップの「Frippertronics」の世界観をイメージした、超現実的な風景を描き出すパッチ。			
Nate Watts	C	0 NW AUTO	BaAutoWahを使用したファンキーなプレイに適したオートワウサウンド。	
		1 NW FUZZ	Ba Metalを使用して激しく歪ませたファズサウンド。	
		2 NW VERB	ソロベースに最適なPlateを使用したリバーブサウンド。	
		3 NW ENS	Mark BとBa Ensmblを使用した厚みのあるコーラスサウンド。	
		4 NW VIB	Flip TopとVibratoを使用した変調感の強いモジュレーションサウンド。	
		5 NW SATK	Ag AmpとSlowATTCKを使用した立ち上がりを程よく遅くしたサウンド。コードプレイに最適。	
		6 NW DLY	G-KruegerとDelayを使用した素直な音が返ってくるディレイサウンド。ディレイ音を利用した幻想的なソロの演出に最適。	
		7 NW DBL	Ba Octaveを使用して低域の厚みを増したセッティング。	
		8 NW CHOR	acousticとBa Chorusを使用した、はっきりとした効果のコーラスサウンド。	
9 NW SYN	StdSynを使用したファンキーなフレーズによくあうシンセベースサウンド。			
Professional Settings	Clean	D	0 Studio	レコーディングなどのライン録音の音をイメージしたセッティング。
			1 Fat Man	フィンガーピッキングの「もっちり」とした音をイメージしたセッティング。
			2 TC CLEAN	テクニクを駆使したあらゆる指弾きに適したコンプ設定のクリーンサウンド。
			3 The Gospel	SMRを使用したゴスペルベースサウンド。
			4 REC CLEAN	HRT3500を使用した、クリーンサウンドでの速弾きをレコーディングするためのセッティング。
			5 Solid Bass	シャープな立ち上がりのベースサウンド。ミドルも十分出ているので音の輪郭も損なわれず、高速プレイに最適。
			6 Big Willie	滑らかな力強いフィンガーピッキングをイメージしたサウンド。
			7 Low Fi	AC Bs Preを使用して大胆にイコライジングしたローファイサウンド。
			8 PickHeavy	ピック弾きに最適な、歪む寸前の状態でわずかにコンプレッションを効かせたロックサウンド。
9 ReggaeBASS	野太く、ローレンジの音圧を前面に出したレゲエDubに最適なサウンド。			
E	0 Cappn Hook	SVTとBa Boostで重低音を出したジェームスジェマーソン風のサウンド。		
	1 REC SOLO_C	G-Kruegerを使用したクリーンサウンドでのソロを録音するためのサウンド。		
	2 FUSION CH	ハーモニクスプレイなどに最適な、ジャズベースのリアピッキングをいかしたセッティング。		
	3 CHORD	コード奏法に適した和音の輪郭を崩さないサウンド。		
	4 HARMONICS	ジャコバストリアスをイメージさせるナチュラルハーモニクスを使ったコード奏法に最適なセッティング。		
	5 CUT&WAH	カッティングにペダルワウを加えてギターのピッキングを再現するファンキーなセッティング。		
	6 TAPPING	タッピングのコード感や歯切れを最大限に演出できる浮遊感のあるサウンド。		
	7 CLEAN SOLO	クリーンなサウンドでありつつ、大胆な速弾きも組み込める叙情的パッチ。		
	8 DUB BASS	深い奥行きのあるリバーブのきいたDubサウンド。ベース本体のトーンを絞っても面白い。		
9 Orpheum	ヴィクターウッテンのアルバム「ショウオブハンズ」でのサウンドを狙ったセッティング。			

CATEGORY	BANK / PATCH	PATCH NAME	COMMENT	
Professional Settings	Clean	F	0 TREMO	イエスのクリスマスワイア風サウンド。「Starship Trooper」での小刻みに音を揺らせたトレモロサウンドを再現。
			1 Mean Green	オージェイズのヒット曲「For the Love of Money」でのアンソニージャクソンのサウンドを再現したセッティング。
			2 CHO&REV	ブライتناラウンド弦の白玉など、長い音符の余韻を生かすのに効果的なサウンド。
			3 Ice	ModReverbを使用した心地よい揺れのセッティング。
			4 Listen Up	SlowATTCK、OptComp、Delay、ModReverbを使った陰りのあるサウンド。バラードに使うと非常に効果的。
			5 Tight	160 CompとSMRを使用したマーカスマラー風の音色。
			6 SLAP&WAH	ファンクメタル風のペダルワウを使ったスラップサウンド。
			7 PULL MELO	スラップのプルだけを使って効果的にメロディーを聴かせるセッティング。
			8 ChokePHASE	160 CompとPhaserを使った、どんな状況でも音が抜けてくるサウンド。
9 SLAPBACK	ショートディレイを使って幻想的なスラッププレイを楽しむセッティング。			
Distortion	G	0 HYBRID DIS	歪んでいても埋もれない輪郭のあるディストーションサウンド。速弾きやライトハンドにも効果的。	
		1 JB Dis	野太いハムバックピッキングピックアップを歪ませた、ジャックブルース風の粘りのある歪んだベースサウンド。	
		2 ExtraExtra	Ba Dist 1とBa Boostを組み合わせた、ハーモニクスやメロディーが引き立つ使って楽しいサウンド。	
		3 KingSal	HeavenとLimiterを使用したブーミーなサウンド。BassPedalMonoPitchでピッチが変えられるのを見逃さない。	
		4 boozier	D.I Plusと Bass BB を使用した荒い歪みのサウンド。	
		5 Aggression	強力かつ大胆不敵なファズサウンド。Ag Ampがサウンドを図太くしている。	
		6 REC SOLO_D	D.I PlusとDI5を使用した速弾きソロをレコーディングするためのセッティング。	
		7 SOLO&WAH	ソロの中でアグレッシブにペダルワウを使うセッティング。	
		8 PHASER	楽曲に色を添える歪んだフェイザーサウンド。	
9 aMUSE me	Museの「ストックホルムシンドローム」をイメージした歪んだベースサウンド。			
Filter/Synth	H	0 Go Ahead	A-FilterとBassPedalMonoPitchを組み合わせたフィルターサウンド。トレモロアーム感覚でペダルを使うと過激なサウンドに!	
		1 Talkin'	ボトムを強調した喋っているようなフィルターサウンド。	
		2 kick it	Ba Octaveを使用したオクターブフィルターサウンド。	
		3 Energy	アルフォンソジョンソンを意識した1970年代のフュージョンサウンド。Limiterでパンチを出してExciterで輪郭をはっきりさせた。	
		4 G-Boogie	SVTとM-Filterを組み合わせた、モーグシンセサイザーの雰囲気を持つ低音の豊かなサウンド。	
		5 Star Bass	シンセベースとエンベロープフィルターサウンドの中間を狙ったセッティング。	
		6 SYNBASE	過激なシンセベースサウンド。サスティンをいかした長い音符のフレーズにピッタリ!	
		7 BassickSyn	1970年代風のキーボードベースを、現代風にアレンジしたセッティング。	
		8 Boogie	喋っているような質感のシンセベースサウンド。	
9 SFX SYNTH	白玉1発で重低音をキープするときに効果的なシンセベースサウンド。			
Tweak Freak	I	0 Synth	うっすらとコンプをかけたサウンドにParticleRを組み合わせたセッティング。レガートで弾くとシンセパッド風のサウンドが得られる。	
		1 chill	コード弾きで使えるシンセパッドサウンド。	
		2 Ice Cold	Defretと1オクターブ下に設定したBa PitchとVibratoを使った、とてもファンキーでユニークなサウンド。	
		3 Drowned	FilterDlyとModReverbを組み合わせた海底に沈んだ遺跡をイメージさせるセッティング。	
		4 Warp	SeqFLTR、ReverseDLなどを使用したエレクトロニカ風サウンド。ハーモニクス、コード弾きに最適。	
		5 JustNasty	Ba Pitchで5度の音を加えたジョージデュークやフランクザッパを彷彿とさせる1970年代のフュージョンサウンド。	
		6 Krush	Dubstepなどをイメージした、BitCrushを使ったシンセベース風サウンド。	
		7 Copycat	心地良い雰囲気を生み出すモジュレーションのかかったロングディレイサウンド。	
		8 Murda Fuzz	SVT、StdSynとSeqFLTRを組み合わせた、図太いファズ&シンセサウンド。	
9 Genesis	ReverseDL、HD Hall、Ba Boostを組み合わせた、スパーシーなニューエイジベースサウンド。			
Legendary Tone	J	0 MillerTime	現代的なスラップ奏法に適したセッティング。M CompとMark Bを使用。	
		1 WARM TONE	歌伴などに最適な、ウォームで落ち着いたあるオーソドックスなベースサウンド。	
		2 EarthyRock	フィンガーピッキングによる荒っぽいロックに最適な太いサウンド。	
		3 Remote	AC Bs PreとFlip Topを組み合わせた、1960年代モータウン風のサウンド。	
		4 1981	ルイスジョンソン風のトラディショナルなスラップサウンド。	
		5 TM FUZZ	ミッドレンジを強力に持ち上げた、ティムボガート風の歪んだベースサウンド。	
		6 Smoke	低域を強調したトラディショナルなレゲエベースサウンド。	
		7 Magic	うっすらとBa Ensmblをかけた1980年代ポップス風のサウンド。	
		8 jackko	フレットレスをシミュレートしたサウンド。複数のエフェクトを組み合わせると揺れと広がり感を出している。	
9 SpaceFONK	D Comp、Vibrato、Z-Synを使った、ブーツィーコリンズをイメージしたシンセベースサウンド。			